

問題16

継続看護 □□□

解法の要点

解説



⑨巻 p.417

基本事項

退院後の継続看護について、正しいのはどれか。

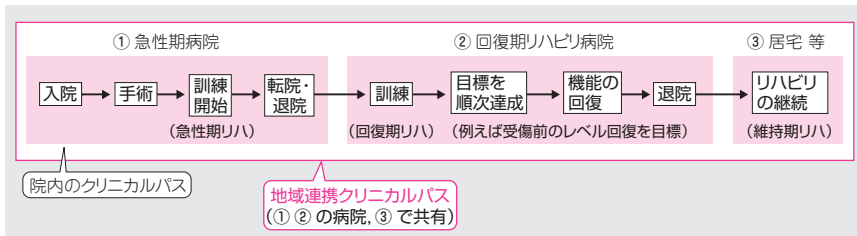
1. 術後を目安に退院に向けた計画的看護を開始する。
2. 住宅改修の検討は支援内容から除く。
3. 地域連携クリニカルパスは市町村を単位とした連携である。
4. 地域連携クリニカルパスにより、切れ目のない医療・看護の提供を目指す。 II-9Be

現状、在院日数の短縮化によって、退院時に対象者が健康な状態まで回復していない場合や、入院前のADLまで戻っていない場合が多くなっている。そのため、近年では病院に地域連携室や退院調整看護師を設置するなどして、地域医療連携の充実を図っている。

- × 1 入院後のできるだけ早い時期から退院に向けて支援を開始することが、効果的な退院支援につながる。(RB-在3)(RB-在2)
- × 2 退院に向けた支援の内容として、必要な住宅改修や医療機器を整えるほか、疾患を自己管理できる手技・技術の習得、生活を維持できるADLの獲得、在宅で受けられる介護保険等を使用した看護・介護のサービスの調整などがあげられる。(RB-在3)(RB-在3)
- × 3 地域連携クリニカルパスは市町村単位ではなく、基本的に二次医療圏の範囲を単位とした連携である。(RB-在3)(RB-在5)
- 4 文章どおり。(RB-在3)(RB-在5)

正解 4

●地域連携クリニカルパス：医療機関から在宅まで**継続した医療**を提供できるように診療計画を作成し、関係する全医療機関で共有して用いるものをいう。地域連携クリニカルパスの導入により、各病期の医療機関相互の連携が強化され、退院後のリハビリテーション継続が期待できる。



医療制度改革関連資料(厚生労働省)より改変